

平成 26 年産 紀南のみかん産地情報

2014/07/28

1. 開花～着果状況

4月から5月にかけて気温が平年に比べ低く推移したため、満開日は早生で5月9日となり、前年・平年に比べ、1日遅れのスタートとなった。5月下旬から6月にかけては、気温が上がり第一次生理落果は多くなったが、第二次落果は少なかった。



7月23日の定点着果量調査(直径3cmの調査枝)では、極早生の着果は28.3果(前年比103%、平年比103%)、早生は20.9果(前年比82%、平年比88%)となった。

2. 果実の肥大・品質

7月20日時点の肥大は、日南1号は平年よりやや小さく、早生はほぼ平年並みとなっている。また品質では、糖度はほぼ平年並み、酸度は平年よりやや高い傾向となった。

品 目	26年産			平 年		
	横径mm	酸度%	糖度%	横径mm	酸度%	糖度%
日南1号	36.4	4.37	7.1	38.1	4.17	7.1
早 生	35.4	4.30	7.2	35.5	4.20	7.0

3. 品質向上対策

現在、果実品質向上のため、小玉果の粗摘果やマルチ被覆・フィガロン散布を啓発している。また、味・外観を向上させるため、着果の多い極早生の摘果は8月中旬までに、早生では9月下旬～10月上旬までに仕上げ摘果を進める。

4. こだわりグループの取り組み

今年で10年目の「極早生こだわり」は、102名16.9ha、7年目になる「早生のこだわり」は、36名6.6haとなっている。

グループでは7月下旬～8月上旬にかけて、第一回目の園地巡回と品質検査を計画しており、生産者一丸となって高品質生産に取り組んでいる。

5. 今年産の生産予想量 (7月28日時点)

品 目	26年産	25年産	平年(過去6年)	前年比	平年比
極早生	3,412	3,639	3,565	93.8%	95.7%
早 生	6,358	7,533	7,302	84.4%	87.1%
合計(普通含む)	9,806	11,214	10,911	87.4%	89.9%